



森ボラ 通信

第77号 2008年10月20日発行

NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 : Fax:241-8308

E-mail : hshinrinv2002@nifty.com

■ トピックス

◆ 活動報告 9月18日 アイケンの森 参加者16名

間伐と薪作り

入り口左手のカラマツ林を9月5日踏査 9月9日札幌工科専門学校生による間伐実習に引き続き今日から間伐作業を開始した。枯損木と懸かり木中心の整理伐であり素性の良いものはなく商用にならず切り捨て間伐とする。調査簿とは異なり35年生ほどで成長は良い林と思われるが代表的な放置林である。私たちの間伐目的は受光であり広葉樹が入ることを促すものである。棟方さん達に標準地の調査をしてもらったが選木は次回となるが切捨てなので間伐率は本数で15%位にとどめたい。

5日に早生のイグチとハタケシメジが出たが9月は雨がなく晩生のイグチはまだ出そうにない。この林もハバチらしい虫害を受け、ようやく今となって新芽が出始めてきた。一日中の間伐は疲れるので午後は束薪づくりとした。(記、酒井)

アイケンの森 40小班 カラマツ林 標準地調査表 F20x 巾10m 9/18/08

DBH cm	生 本	枯 本	広葉樹 本	備 考
6			2	セン1・ミズキ1
8				
10				
12		1		
14	4	1		
16	1	1		
18	5			
20	5			
22	3			
24	1			
26	0			
28	2			
30	2			
32				
計	23	3	2	
ha当たり換算	1,150本	150本	100本	平均胸高直径 20.3cm

◆ 2008年研修旅行「前田一步園の森林見学」

今回は、阿寒の前田一步園の森林見学と津別・置戸の木エクラフト、及び旭川での木質ペレットの研修と盛り沢山の内容となった。ここでは前田一步園の森の見学に絞ってその感想を記す。



前田一步園の森は、財団の設立趣意書にもあるように「阿寒の自然を将来にわたって保護」していくことが目的であり、森林施業はその一環として行われている、従って、林業そのものだけを目的とした施業は行なわれていない。今回、森の案内をしてくださった山本氏の説明では、50年前の前田一步園の森林は、明治・大正期に伐採され非常に貧弱な森で、周囲の国有林と比較するとはっきりと見劣りする森であった。しかし、ここ50年間の施業により材の蓄積も多くなり、生き活きとした森になってきた。一方、国有林は多くの赤字の問題を抱えて開発が進められ貧弱な森となり、今では50年前と逆転してしまったとのことであった。但し、ここまで施業してきた中でもここ数年の「エゾシカ」の問題は、幼樹が食べられ、大きな木も樹皮被害により枯損木となるなど森林維持の上でも大きな問題で、その対策を試行錯誤で進めてきており、樹木をプラスチックネットで囲んだり、年間400～500頭を囲い込みで捕獲(冬季に実施)して、養鹿牧場に送っている。エゾシカの急激な増加による問題は、農業や森林被害だけでなく最近では高山植物が食べられ絶滅の危機になっているなど多方面で被害をもたらしている。前田一步園が行っている捕獲は他の地域でも参考になる対策の一つである。

森林ボランティア協会としては、豊かな森づくりが目的の一つであり、前田一步園の「300年前の姿である針広混交林を目指す」「森林の有する多面的な機能に配慮した施業を行う」などの森林施業方法は非常に参考になると思います。

今回は、時間の制約もあり前田一步園の森林の中でも最も手近な所を見せて頂きましたが、次の機会にはボランティア作業を含めて阿寒湖の北のより原始性の高い森林も訪れたいものです。
(記、荻田)

もみじの研修旅行雑感

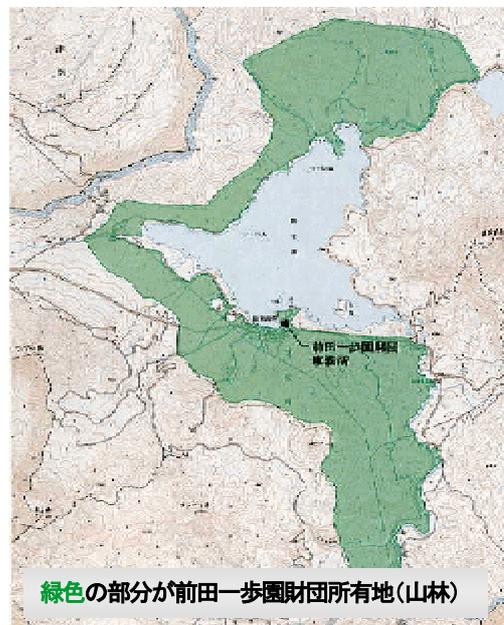
恒例となった秋の研修旅行は、道東と道北を3日間で回るコースだったが、もみじに恵まれるなど秋にふさわしい実りの多い旅であった。

初日は、阿寒湖畔までの旅行行程であったが途中開通したばかりのトマムから高速道路に入った。大きな峠を越えずに十勝入りするのは初めてであり十勝が一段と近くになったように思われ感慨深いものがあった。続いてもみじで賑わうオンネトー湖に立ち寄り、夕刻阿寒湖畔に入った。

2日目の午前中は前田一步園の視察である。同園については奇妙な金持ちが作った財団といったイメージしか持っていなかったがこのたびの視察で多くのことを知った。「自然は最高の師」という前田家の基本理念をベースに、3つの法律に守られつつ逆にそれを遵守しながら自然を育てていく経営方針が、森の神秘さや奥深さになっているのだろうと森に入った瞬間に感じた。日ごろ、札幌近郊の貧相な森に接しているからだろうか、巨樹の立ち並ぶ原始に近い森に入ると圧倒され身の引き締まる思いを強く感じた。

この広大な森を維持管理するための資金のやりくりも大変だろうと財源の流れも興味の一つであったが、温泉の権利や土地貸付などの収益事業もやっていることを知り驚くと共に納得し、かつ安心もしたのだった。

一方、いかなる天災よりもエゾシカによる被害が大きいという。生きるために防護ネットを食いちぎる生命力の凄まじさを見せられ驚嘆した。シカの駆除や共生方法について難しい課題を抱



えて試行錯誤していることがよく分かった。半日の視察だったが前田家の精神が失われることなく後世まで阿寒の自然が守られることを願いつつ阿寒湖を後にした。

前田記念館の広大な庭園で昼食を摂ったあと林業の盛んな北見地区に向かい、まず、津別木材工芸館を見学した。引き続き欲張って置戸のクラフト工房にも立ち寄った。両館とも数多くの木作品が展示されていたがそれらを手に取り工法のカラクリやノウハウを盗もうとする人、管理人に熱心に説明を求めている人もいた。中には材料の乾燥設備を見せてもらうなど単なるひやかし集団でないことは先方にも十分伝わったと思う。

二日目の宿泊は39号線を通るたびに、いつかは泊まってみたいと思いつつ今日まで実現していなかった塩別つつる温泉である。その名のとおり、泉質がつつるして肌触りがよくお年寄り中心の客で満員の盛況だった。

最終日は、小雨を突いて旭川道立林産試験場を見学した。広大な敷地に立派な建物が並んでいたが閑散とした雰囲気であったため道の財政を圧迫していないか、天下りの受け皿でないか等々、勘ぐったりしたのはヘソ曲がりのせいだろうか。

ここではペレットについて学んだが近年のエコブームに加え化石燃料の高騰で、にわかにはクローズアップされているがペレット本体やストーブの価格にまだ高値感は否定できず、またペレットの安定供給や保管場所などハードルが幾つもあって普及にはかなりの時間を要することを実感した。

さて宿泊ホテルだが、阿寒湖荘の露天風呂は2階にあるため囲いがなく見通しがよい。その晩もシカが間じかに見えたと外人客らが大騒ぎしていたようだった。この露天風呂が当ホテルの自慢なのだろう。

つつる温泉の風呂から眺めるもみじは絶品でありつい長風呂となってしまう。露天風呂で、もみじの落ち葉がヒラリと湯船に落ちる瞬間に出くわしその風情に思わず感動した。こんなときに才があれば一句ひらめくのだろうが、凡人としていかんともし難いもどかしさを感じたのだった。もみじのつつる温泉はぜひお勧めしたい。層雲峡のもみじも最盛期であり数十年ぶりにその素晴らしさを堪能した。

夜の懇親会の方は連日盛り上がり口角泡を飛ばして深夜まで続いた。現役を離れて上司や部下の不満や愚痴もなくお互い過去に利害関係もないから話題も明るく、酔った雰囲気めっぽう楽しいのだ。それにしても森ボラ仲間への兵衛や酒豪が多いのは単なる偶然だろうか。森林とアルコールとの相関関係を立証できれば面白いのだが・・・？ これだけ飲んで元気のよい高齢者集団だから「わが森ボラ軍は永遠に不滅です」と言えそうだ。

最後に、企画から旅行中の一切の雑事をお任せした荻田さんに、そして700km以上の全工程を、マイクロバスを安全に運転して頂いた矢澤さんの両氏に厚く感謝を申しあげなければなりません。二人のおかげで楽しい旅行ができたことを肝に銘じ心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

さらにもう一つ、北見の特産品を手を持ちきれないほどおみやげとして頂いた杉本さんとその実家の皆さんに紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。(記、吉本)



■ 今月の幹事会

出席者：荻田・酒井・佐野・杉本・高野・西野・棟方・山中・

傍聴：佐坂

連絡事項

- ・「木の里親募金」2件、有難うございました。
 - 比布町立中央小学校児童会本部。
 - 北都システム(株)と同社社長(大庭浩司氏)。
- ・新入会員3名の紹介(理事・顧問含め113名となりました)

○安藤和昌 さん 手稲区曙

○西野 巴 さん 室蘭市

○住出 尊史 さん 中央区

・理事会(中間)は12月2日(火)に変更します。

会場は、(株)アークス本社(別添)にて実施します。時間：15:00、

(事務局)

■ 活動履歴

活動日	行 事	参加人数	活動内容
10月17日(金)	アイケンの森	10名	除伐・薪づくり
10月16日(木)	西野第2	7名	崩芽切
10月15日(月)	りんご園	9名	収穫
	幹事会	9名	
10月14日(火)	石狩支庁外部研修	4名	ペレット工場視察・ウヨロ環境トラスト研修
10月12日(日)	支笏湖	13名	コンサ100年の森植樹祭支援
10月11日(土)	オイスカ植樹祭支援	2名	当別青山植樹祭・看板建立
	支笏湖	8名	コンサ100年の森植樹祭準備
	りんご園	5名	収穫
10月8日(水)	りんご園	1名	収穫
10月7日(火) ～9日(木)	研修旅行	16名	前田一步園の森林育成視察・木工クラフト・道立林産試験場視察
10月6日(月)	澄川	13名	除伐・木工
10月5日(日)	札幌ファクトリー	13名	フリーマーケット出展・販売
10月4日(土)	木工	9名	プリマ出展準備
	りんご園	6名	収穫
10月3日(金)	りんご園	6名	収穫
10月2日(木)	アイケンの森	13名	除伐・薪づくり
10月1日(水)	りんご園	10名	収穫
9月29日(月)	木工	14名	フリマ作品制作
9月27日(土)	りんご園	6名	葉摘み・収穫
9月26日(金)	木工	14名	フリマ作品制作・看板製作
9月24日(水)	りんご園	5名	葉摘み・収穫
	南幌ヤナギ圃	6名	ヤナギ生育調査・メンテナンス
9月20日(土)	りんご園	7名	葉摘み・収穫
9月19日(金)	りんご園	8名	葉摘み・収穫
9月18日(木)	アイケンの森	16名	除伐・薪づくり

■ お知らせ

◆ 会員多数の参加をお願いします

- ① 道庁赤レンガ「森づくりネットワーク」を支援します(10/25)。多数の会員参加を。
- ② 「森林ボランティアと創る石狩の豊かな里山モデル事業」研修(11/06)、会員参加募集
・白幡山(11/06(木))標準地調査・伐採木の選定・その他の施業(つるきり・枝打ち木の標示・遊歩道の線形確定など)、募集は4名

